



せいぶつたようせい
芦屋市のチョウと生物多様性



芦屋市 市民生活部 環境課

せいぶつたようせい 生物多様性とは？

いろいろな特徴や違いをもつ、たくさんの生き物が、ほかの生き物や環境とつながりあいながら生活をしていることをいいます。

芦屋にも、いろいろな環境があり、それぞれの環境にあった生き物が住んでいて、それぞれがつながりをもっています。



公園



湿地



ブナ林



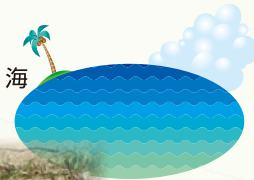
山



がいろじゆ
街路樹



川



海



すなはま
砂浜



かせんじき
河川敷

この本は、芦屋で見ることができ、たくさんの種類のチョウを紹介して、芦屋のすばらしい自然と生物多様性について、身近に感じていただくことを目的として作りました。

わ せいぶつたようせい チョウから分かる生物多様性

芦屋はたくさんのチョウを
みることが出来ます。

それは、六甲山ろくがやまが近いこと、
芦屋川あしやがわがあること、道の横よこに
木や花がたくさん植うえてある
こと



花壇だんのある家がたくさんあって、
いろいろな種類しゆるいの植物しょくぶつが植うえら
れていることと、チョウの成長せいの
仕方しかたにかんけいがあります。

チョウの成長せいの仕方

チョウは植物しょくぶつの葉はに卵たまごを産うんで、幼虫ようちゆうはその葉はを食はべて大きくなります。



成虫せいになったチョウは、花のみつなどをすつて栄養えいようをとります。

チョウの幼虫ようは、食べることができる葉はが種類しゅるいごとに決まきまっているので、たくさんしゅるいの種類の植物しょくぶつがはえていると、それだけたくさんせいのチョウが成長せいできることになります



芦屋市内でよく見かけるチョウ

東おたふく山おたくいや奥池町おくいけ、ごろごろ岳山頂部だけさんちようぶ、高座こうざの滝たきといった北側がわでは、オナガアゲハやカラスアゲハのような、大型がたのアゲハを見ることが出来ます。

これらのチョウは、山から芦屋川あしやがわに沿そって降りてくるので、阪急電鉄芦屋川駅ほんきゅうでんてつあしやがわの北側付近がわふきんでも見ることが出来ます。



オナガアゲハ



カラスアゲハ